

## 2024年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

会社名 株式会社 沖縄海邦銀行 上場取引所 ー  
コード番号 ー URL <https://www.kaiho-bank.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 新城 一史  
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 高良 彦行 TEL (098)867-2112  
四半期報告書提出予定日 2023年11月24日 配当支払開始予定日 2023年12月11日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	6,123	△3.1	1,054	△6.9	667	△35.9
2023年3月期中間期	6,323	△0.9	1,132	77.0	1,043	79.6

(注) 包括利益 2024年3月期中間期 △870百万円 (ー%) 2023年3月期中間期 △711百万円 (△214.4%)

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期中間期	196	83	—	—
2023年3月期中間期	307	50	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2024年3月期中間期	784,033		42,079		5.3	
2023年3月期	824,041		43,035		5.2	

(参考) 自己資本 2024年3月期中間期 42,044百万円 2023年3月期 42,999百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2024年3月期 (予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,550	△28.6	1,070	△42.0	315	43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期中間期	3,400,000 株	2023年3月期中間期	3,400,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期中間期	8,110 株	2023年3月期中間期	7,910 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年3月期中間期	3,392,012 株	2023年3月期中間期	3,392,141 株

(個別業績の概要)

1. 2024年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益		1株当たり中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
2024年3月期中間期	6,112	△3.1	1,062	△6.8	674	△35.6	198	92
2023年3月期中間期	6,314	△0.6	1,141	80.9	1,048	82.0	309	01

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2024年3月期中間期	784,093		41,951		5.3	
2023年3月期	824,058		42,894		5.2	

(参考) 自己資本 2024年3月期中間期 41,951百万円 2023年3月期 42,894百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	1,540	△28.7	1,070	△41.7	315	43

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当行は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
（1）中間連結貸借対照表	3
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
（3）中間連結株主資本等変動計算書	6
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	8
3. 中間財務諸表	9
（1）中間貸借対照表	9
（2）中間損益計算書	10
（3）中間株主資本等変動計算書	11

※2024年3月期 第2四半期（中間期）決算ダイジェスト、決算説明資料

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）における我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を機に経済活動が正常化したことにより、企業収益や個人消費に回復の動きが見られました。

国内景気の先行きとしては、資源価格の高止まりや為替変動が物価に与える影響の拡大などが懸念されていますが、全体として持ち直していくものと考えられています。

沖縄県内の景気については、全体として緩やかな回復の動きが続きました。観光関連産業は国内外からの観光需要により入域観光客数やホテルの客室稼働率において前年を上回る水準で推移する等、拡大基調となっています。

しかしながら、有効求人倍率が1.2倍に上昇するなど広範に亘る業種で人手不足が深刻化しており、売上機会の損失やサービスの品質低下が懸念されるなど課題が残る状況が続いております。

このような環境の中、当行はお客さま支援に軸足を置いた活動を継続し、第17次中期経営計画「スピード&クイックレスポンス」（計画期間：2022年4月～2025年3月）に基づき、お客さまへ寄り添った良質な金融サービスの提供等により、お客さまの課題解決に向けた取組みを実践してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は次のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息収入や有価証券利息配当金、預け金利息が減少したことなどから、前年同期比1億99百万円減少の61億23百万円となりました。また、経常費用は、営業経費が減少したことなどから、前年同期比1億20百万円減少の50億69百万円となりました。

以上により、経常利益は前年同期比78百万円減少の10億54百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比3億75百万円減少の6億67百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の連結財政状態について、総資産は前連結会計年度末比400億8百万円減少の7,840億33百万円、純資産は前連結会計年度末比9億56百万円減少の420億79百万円となりました。

主要勘定としては、貸出金は、事業性貸出は増加したものの、個人向けおよび地方公共団体向け貸出が減少したことなどから、前連結会計年度末比52億29百万円減少の5,443億28百万円となりました。

預金は、個人預金および公金預金は増加しましたが、法人預金が減少したことから前連結会計年度末比9億40百万円減少の7,372億28百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比4億48百万円減少の1,800億86百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結及び単体の業績予想は、2023年5月12日に公表した数値から変更ありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	78,054	43,256
コールローン及び買入手形	—	—
有価証券	180,534	180,086
貸出金	549,558	544,328
外国為替	—	—
その他資産	6,777	6,741
有形固定資産	8,321	8,215
無形固定資産	704	593
退職給付に係る資産	881	889
繰延税金資産	710	1,288
支払承諾見返	1,870	2,079
貸倒引当金	△3,372	△3,446
資産の部合計	824,041	784,033
<b>負債の部</b>		
預金	738,169	737,228
借入金	36,000	—
外国為替	—	—
その他負債	4,151	1,818
賞与引当金	324	325
退職給付に係る負債	296	299
役員退職慰労引当金	108	122
睡眠預金払戻損失引当金	6	—
利息返還損失引当金	1	1
偶発損失引当金	76	79
繰延税金負債	—	—
支払承諾	1,870	2,079
負債の部合計	781,006	741,954
<b>純資産の部</b>		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
利益剰余金	35,416	35,999
自己株式	△28	△28
株主資本合計	43,144	43,727
その他有価証券評価差額金	△165	△1,697
退職給付に係る調整累計額	19	14
その他の包括利益累計額合計	△145	△1,682
非支配株主持分	35	34
純資産の部合計	43,035	42,079
負債及び純資産の部合計	824,041	784,033

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
経常収益	6,323	6,123
資金運用収益	5,350	5,214
(うち貸出金利息)	4,756	4,716
(うち有価証券利息配当金)	495	447
役務取引等収益	641	698
その他業務収益	117	—
その他経常収益	212	210
経常費用	5,190	5,069
資金調達費用	25	17
(うち預金利息)	31	27
役務取引等費用	518	475
その他業務費用	3	4
営業経費	4,554	4,390
その他経常費用	87	182
経常利益	1,132	1,054
特別利益	285	—
固定資産処分益	18	—
移転補償金	266	—
特別損失	97	30
固定資産処分損	26	30
減損損失	71	0
税金等調整前中間純利益	1,320	1,023
法人税、住民税及び事業税	246	264
法人税等調整額	32	92
法人税等合計	278	357
中間純利益	1,041	665
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	1,043	667

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
中間純利益	1,041	665
その他の包括利益	△1,753	△1,536
その他有価証券評価差額金	△1,734	△1,532
退職給付に係る調整額	△19	△4
中間包括利益	△711	△870
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△710	△869
非支配株主に係る中間包括利益	△1	△1

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,537	3,219	33,739	△27	41,469
当中間期変動額					
剰余金の配当			△84		△84
親会社株主に帰属する中間純利益			1,043		1,043
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	958	△0	957
当中間期末残高	4,537	3,219	34,698	△28	42,426

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,555	113	1,668	34	43,173
当中間期変動額					
剰余金の配当					△84
親会社株主に帰属する中間純利益					1,043
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,734	△19	△1,753	△1	△1,754
当中間期変動額合計	△1,734	△19	△1,753	△1	△797
当中間期末残高	△178	93	△84	33	42,375



当中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,537	3,219	35,416	△28	43,144
当中間期変動額					
剰余金の配当			△84		△84
親会社株主に帰属する中間純利益			667		667
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	582	△0	582
当中間期末残高	4,537	3,219	35,999	△28	43,727

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△165	19	△145	35	43,035
当中間期変動額					
剰余金の配当					△84
親会社株主に帰属する中間純利益					667
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,532	△4	△1,536	△1	△1,538
当中間期変動額合計	△1,532	△4	△1,536	△1	△956
当中間期末残高	△1,697	14	△1,682	34	42,079

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表  
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当中間会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	78,054	43,256
コールローン	—	—
有価証券	180,619	180,171
貸出金	549,558	544,328
外国為替	—	—
その他資産	6,727	6,731
その他の資産	6,727	6,731
有形固定資産	8,321	8,215
無形固定資産	703	593
前払年金費用	857	869
繰延税金資産	717	1,293
支払承諾見返	1,870	2,079
貸倒引当金	△3,372	△3,446
資産の部合計	824,058	784,093
<b>負債の部</b>		
預金	738,323	737,412
借入金	36,000	—
外国為替	—	—
その他負債	4,157	1,825
未払法人税等	322	283
リース債務	175	151
資産除去債務	74	72
その他の負債	3,584	1,318
賞与引当金	321	322
退職給付引当金	300	300
役員退職慰労引当金	108	121
睡眠預金払戻損失引当金	6	—
偶発損失引当金	76	79
繰延税金負債	—	—
支払承諾	1,870	2,079
負債の部合計	781,164	742,141
<b>純資産の部</b>		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
資本準備金	3,219	3,219
利益剰余金	35,330	35,920
利益準備金	4,537	4,537
その他利益剰余金	30,792	31,382
別途積立金	28,395	28,895
事務機械化準備金	400	400
圧縮記帳積立金	21	21
繰越利益剰余金	1,975	2,066
自己株式	△28	△28
株主資本合計	43,059	43,648
その他有価証券評価差額金	△165	△1,697
評価・換算差額等合計	△165	△1,697
純資産の部合計	42,894	41,951
負債及び純資産の部合計	824,058	784,093

## (2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
経常収益	6,314	6,112
資金運用収益	5,350	5,214
(うち貸出金利息)	4,756	4,716
(うち有価証券利息配当金)	495	447
役務取引等収益	628	683
その他業務収益	117	—
その他経常収益	216	214
経常費用	5,172	5,049
資金調達費用	25	17
(うち預金利息)	31	27
役務取引等費用	518	474
その他業務費用	3	4
営業経費	4,549	4,384
その他経常費用	75	169
経常利益	1,141	1,062
特別利益	285	—
特別損失	97	30
税引前中間純利益	1,329	1,032
法人税、住民税及び事業税	245	264
法人税等調整額	35	92
法人税等合計	280	357
中間純利益	1,048	674

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			繰越利益剰余金	
				別途積立金	事務機械化準備金	圧縮記帳積立金			
当期首残高	4,537	3,219	3,219	4,537	27,895	400	22	806	33,662
当中間期変動額									
剰余金の配当								△84	△84
別途積立金の積立					500			△500	—
圧縮記帳積立金の取崩							△0	0	—
中間純利益								1,048	1,048
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	500	—	△0	463	963
当中間期末残高	4,537	3,219	3,219	4,537	28,395	400	22	1,270	34,625

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△27	41,391	1,555	1,555	42,947
当中間期変動額					
剰余金の配当		△84			△84
別途積立金の積立					—
圧縮記帳積立金の取崩					—
中間純利益		1,048			1,048
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)			△1,734	△1,734	△1,734
当中間期変動額合計	△0	962	△1,734	△1,734	△771
当中間期末残高	△28	42,354	△178	△178	42,176

当中間会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			繰越利益剰余金	
				別途積立金	事務機械化準備金	圧縮記帳積立金			
当期首残高	4,537	3,219	3,219	4,537	28,395	400	21	1,975	35,330
当中間期変動額									
剰余金の配当								△84	△84
別途積立金の積立					500			△500	
圧縮記帳積立金の取崩							△0	0	
中間純利益								674	674
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	500	—	△0	90	589
当中間期末残高	4,537	3,219	3,219	4,537	28,895	400	21	2,066	35,920

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△28	43,059	△165	△165	42,894
当中間期変動額					
剰余金の配当		△84			△84
別途積立金の積立					
圧縮記帳積立金の取崩					
中間純利益		674			674
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）			△1,532	△1,532	△1,532
当中間期変動額合計	△0	589	△1,532	△1,532	△942
当中間期末残高	△28	43,648	△1,697	△1,697	41,951

株式会社 沖縄海邦銀行

2024年3月期 第2四半期(中間期)  
決算ダイジェスト

Beyond the Bank  
あなたの明日へ



## 2024年3月期 第2四半期（中間期）決算ダイジェスト

1. 決算の概要【連結・単体】	P 1
2. 損益状況【単体】	P 2
3. コア業務純益【単体】	P 3
4. 経費の推移【単体】	P 4
5. 貸出金の状況【単体】	P 5
6. 預金の状況【単体】	P 6
7. 預かり資産の状況【単体】	P 7
8. 不良債権（金融再生法開示基準）の状況【単体】	P 8
9. 有価証券の状況①【単体】	P 9
10. 有価証券の状況②【単体】	P 10
11. 自己資本比率の推移【連結・単体】	P 11
12. 収支・損益項目の推移【単体】	P 12



## 2024年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

- ・ 連結、単体ともに、減収・減益（経常収益・経常利益ベース）の決算内容となりました。

（単位：百万円）

	連結		単体	
		前年比		前年比
経常収益	6,123	△199	6,112	△201
経常費用	5,069	△120	5,049	△122
経常利益	1,054	△78	1,062	△78
中間純利益	667	△375	674	△373

## 2. 損益状況【単体】

(単位：百万円)

単体	2022/9期	2023/9期	22/9期比
1 経常収益	6,314	6,112	△201
2 資金運用収益	5,350	5,214	△136
3 (うち貸出金利息)	4,756	4,716	△40
4 (うち有価証券利息配当金)	495	447	△47
5 役員取引等収益	628	683	54
6 その他業務収益	117	—	△117
7 その他経常収益	216	214	△1
8 (うち貸倒引当金戻入益)	32	—	△32
9 (うち償却債権取立益)	113	2	△111
10 (うち株式等売却益)	37	190	153
11 経常費用	5,172	5,049	△122
12 資金調達費用	25	17	△8
13 役員取引等費用	518	474	△43
14 その他業務費用	3	4	0
15 一般貸倒引当金繰入額	—	△25	△25
16 営業経費（除く臨時処理分）	4,557	4,374	△183
17 人件費	2,294	2,189	△104
18 物件費	1,941	1,859	△82
19 税金	321	324	3
20 その他経常費用	66	204	137
21 (うち個別貸倒引当金繰入額)	—	105	105
22 (うち貸出金償却)	21	6	△15
23 経常利益	1,141	1,062	△78
24 特別損益	187	△30	△218
25 当期純利益	1,048	674	△373

(ご参考)

26 資金利益	5,325	5,197	△128
27 役員取引等利益	110	208	98
28 コア業務純益	912	1,030	117
29 債券等損益（5勘定戻）	79	△2	△82
30 株式等損益（3勘定戻）	24	190	165
31 与信関係費用	△89	161	251

### ■ 経常収益

経常収益は、役員取引等収益が増加しましたが、貸出金利息収入及び有価証券利息配当金が減少したことなどにより、前年比2億1百万円減少の61億12百万円となりました。

### ■ 経常費用

経常費用は、個別貸倒引当金繰入額が増加しましたが、役員取引等費用や営業経費が減少したことなどにより、前年比1億22百万円減少の50億49百万円となりました。

### ■ 経常利益

経常利益は、経常収益の減少に伴い、前年比78百万円減少の10億62百万円となりました。

### ■ コア業務純益

本業による収益を表すコア業務純益は、前年比1億17百万円増加の10億30百万円となりました。

Beyond the Bank

あなたの明日へ































































